

二次う蝕のリスクをコントロールしましょう！

患者様からよく、痛くない歯をなぜ触ら（治療し）なければいけないの？という質問を受けます。

小さな銀歯や、大きな銀歯、又は白い詰め物様々ありますが、今回は下の絵を参照に大きな銀歯で、お話していこうと思います。

外側から見ているだけだと、銀歯のへりのあたりで黒く見えているだけでも、銀歯の内側では大きな虫歯になっていることがあります

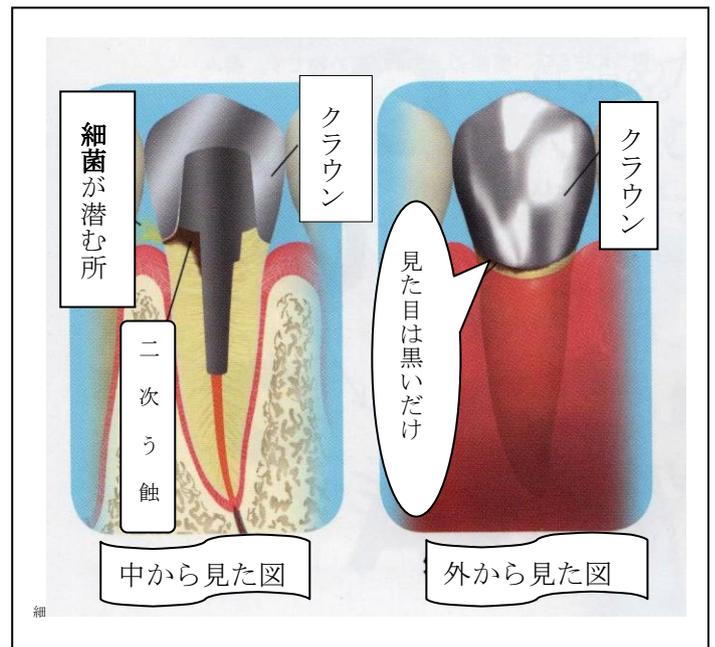
このような状態を二次う蝕（虫歯）と言います！

先のケースは、無髄歯と言って歯の神経がないものです。

歯の神経がないと、内側で虫歯が進行していても、なかなか痛みを感じにくく、症状を訴えてからでは手遅れになってしまい、治療を希望されても治療困難の為、抜歯ということにもなりかねません。

また、神経の残っている歯の場合、痛みを訴えてからだだと進行が進んでしまっ、神経を取らなければならなくなります。

このような結果をまねかない為にも、お口の中の環境改善を心掛けましょう！



環境改善って？

まずはご自身の歯磨きの仕方を改善致しましょう。

正しい磨き方は歯科医院で教わりましょう。また、頑固なバイオフィルム(歯垢)は、なかなかご自身ではおとせません。定期的に歯科を受診してメンテナンスをしていきましょう！